

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月25日更新

事務事業名	農業集落排水施設及びマンホールポンプ場維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春	
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	鍋田 将文	
	基本事業	30	水質の浄化			所属班	管理工務班	(内線)	1156	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	市農業集落排水処理施設条例、同規則、浄化槽法、水質汚濁防止法		成果優先度評価結果	②
	農集	1	1	2	10253				コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	野々島、上生及び合生(一部)地域において、公共下水道及び特定環境保全公共下水道区域以外の地域に対し、農業集落排水事業計画により、平成10、11年に農業集落排水処理施設(蘇水苑、清流館)及びマンホールポンプ場が建設され、平成12年の供用開始により始まった事業である。 農業集落排水処理施設(蘇水苑、清流館)及びマンホールポンプ場の適切な運転管理を行い、機能保持に必要な処置を施す事業である。供用開始から11年を経過し、老朽化が進んでおり、5年前と比べ補修箇所が増えてきている。 機械及び電気設備を駆使した運転管理が必要であり、適切な運転管理及び保守点検を行うため、専門業者への業務委託を行っている。また、運転管理に必要な消耗品、医薬材料、原材料、燃料等の適宜調達を行い、維持管理及び運転状況を確認し指示及び指導を行う。 浄化槽法に基づく法定検査への対応を行う。
【業務の流れ】	①故障報告等の受理、②現地調査(緊急性等の判断)、③対策の検討、④補修工事契約事務、⑤現地打合せ、⑥竣工検査事務、⑦支払事務 ・維持管理及び運転委託事務(年間契約、月ごとの業務管理、委託料支払事務等) ・消耗品、医薬材料、原材料、燃料等の適宜調達事務
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、施設修繕料、医薬材料費)、役務費、委託料、工事請負費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 運転管理受託者から、農業集落排水処理施設は当初建設以来、設備を使用し続けており、経年劣化による傷みが出てきていることが報告され、特に基幹となる設備については、不具合が生じた場合に即座に補修改善ができないため(部品製造に2、3ヶ月かかる。)、計画的にオーバーホール等を施してほしいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
農業集落排水処理施設の「蘇水苑」「清流館」及びマンホールポンプ施設の機能を保持するため、業務委託により適切な運転管理、保守、点検を行った。 また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行った。	前年同様、専門業者への業務委託により適切な運転管理、保守、点検を行う。 また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行う。 なお、本年度は、特に災害時の停電対策として、蘇水苑に外部受電(自家発電設備)を接続するための施設改造に取り組む。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 保守点検、委託の件数	件
イ 補修件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
農業集落排水処理施設(終末処理場、マンホールポンプ場)	(単位)
	ア 農業集落排水処理施設(処理場)数
	イ マンホールポンプ場の箇所数
	箇所
	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
施設の機能が保持され、支障無く稼働できる。	(単位)
	ア 不具合やトラブルの発生件数
	件
	イ 不具合やトラブルへの対応率
	%
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
不具合やトラブルの発生件数及びその対応率をみることで、農業集落排水処理施設(終末処理場、マンホールポンプ場)の機能が保持され、支障無く稼働できたかどうかを判断できると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 件	件	3	3	3	4	4	4	4	4	
	イ 件	件	4	8	6	7	7	8	9	10	
② 対象指標	ア 箇所	箇所	2	2	2	2	2	2	2	2	
	イ 箇所	箇所	8	8	8	8	8	8	8	8	
③ 成果指標	ア 件	件	4	8	6	7	7	8	9	10	
	イ %	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	17,300	17,349	17,528	17,413	17,967	17,700	17,750	17,800
		繰入金	千円	5,695	6,218		7,410	11,962	7,700	7,750	7,800
	一般財源	千円			7,590						
	(A) 事業費計	千円	22,995	23,567	25,118	24,823	29,929	25,400	25,500	25,600	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	7	5	7	6	6	6	6	6
	延べ業務時間	時間	535	493	535	360	500	500	500	500	
	(B) 人件費計	千円	2,129	2,031	2,204	1,453	2,060	2,060	2,060	2,060	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	25,124	25,598	27,322	26,276	31,989	27,460	27,560	27,660	

事務事業名	農業集落排水施設及びマンホールポンプ場維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 施設に精通した専門業者に業務を委託し適切な運転管理、保守、点検を行ったこと、また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行ったことにより目標を達成できた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 日常の点検管理等により施設の状況を把握しており、突発的な不具合等に対して適切な補修等に対応することにより、目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 老朽化した施設の改善必要箇所を事前に把握することにより、不具合の発生や故障箇所を減少させ、円滑な運転管理につなげているが、施設の機能が保持されることが成果であり、向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する下水道事業等の維持管理事業があり、作業的な連携は既に行っている。しかし、対象施設が明確に分けられており、現時点での統廃合はできない。ただし、将来的には小規模処理施設である「清流館」について、耐用年数を考慮し、特定環境保全公共下水道へ接続(ポンプ施設化)することで統合する方法は考えられる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現状でも他の類似施設と連携して最小の事業費で運転管理を行っており、これ以上の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 さらに、設備の老朽化が進み、補修や改修に要する経費は増加していくと考えられる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現状でも最小の人員で、他の事業との兼務により取り組んでおり、これ以上の削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 合志市農業集落排水処理施設条例に基づき、受益者から使用料を応分負担して頂いており、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 施設の運転及び維持管理業務のほとんどを専門業者に委託しており、その財源は使用者からの使用料である。技術的な専門性や水質品質の確保など、信頼性の観点から、現時点で地域や住民に移行することはできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。電気や機械など、特殊な設備が多く、不具合箇所の早期発見及び計画的な更新を行うため、専門業者による保守点検にも取り組む必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>災害等への備えを充実させ、適切な運転及び維持管理(補修対応等)を行うことで、今後も引き続き目標達成を継続していくことをめざす。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>将来的な農業集落排水処理施設(農業集落排水浄化センター清流館)を廃止(ポンプ施設化)し、特定環境保全公共下水道へ流入(統合)させるため、清流館の耐用年数を目処に、下水道事業側(受入側)における計画変更(認可及び全体計画)を視野に入れ、適切な時期に手続きを進める必要がある。</p>																						